

令和3年6月16日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰  
公衆衛生担当理事 今井 一登

## ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

こちらは鎌倉市医師会 HP へもアップロードしていますのでご確認ください。

【こちらの件の問い合わせ先】 鎌倉市医師会コロナウイルスワクチン予防接種担当 広崎 繁雄

TEL : 0467-22-1245 Mobile : 090-8476-1245 Mail to : [kcma.yoboseshu@kcma.jp](mailto:kcma.yoboseshu@kcma.jp)

---

日本医師会感染症危機管理対策室長

釜 薗 敏

## ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

ファイザー社ワクチンの基本型から連携型及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時に使用する冷蔵移送用保冷バッグについては、厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設に配布されているところです。

今般、厚生労働省より、夏季季節を迎えるにあたって、同保冷バッグの使用方法が変更されたことについて、各都道府県衛生主管部（局）宛て事務連絡がありましたのでご連絡申し上げます。

移送前のアルミ内箱（バイアルホルダー入）の冷蔵庫（2～8℃）における予冷が追加されております。

事務連絡  
令和3年6月1日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

「新型コロナウイルスワクチン接種に係る冷凍ワクチンの冷蔵移送について（令和3年2月10日付け事務連絡）」において、ファイザー社のワクチンを基本型接種施設から連携型接種施設及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時の持ち運び時に使用する冷蔵移送用保冷バッグを原則、基本型接種施設及び責任医師を決めて、市町村が管理する場所に厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設（以下「基本型接種施設等」という。）に配布してきたところです。

今般、夏季季節を迎えるにあたって、別添のとおり、ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグの使用方法を変更することとします。

つきましては、貴管下関係機関等への周知をお願いいたします。

# 保冷バッグの構成

(外気温35°C環境下で8°C以下を12時間保持)

## ①外装

素材：ターポリン生地

寸法：W358×D300×H295mm

## 内包部分

素材：発泡スチロール (EPS容器)

板厚：約45-50mm

## ②アルミ内箱

寸法：W207×D148×H59mm

## ③バイアルホルダー

寸法：W204×D145×H48mm

※50本収納可能 (バイアル寸：16.25φ×H31mm)

## ④保冷剤 (3°C融点保冷剤) 4枚

充填量：480g×4枚=1,920g

寸法：W220×D140×H22mm (1枚分)

別紙1

①



保冷バッグ  
使用方法を貼付



②



③



④



# 保冷バッグの使用法

- (1) 前日の準備(移送開始12時間以上前)：
- ① 冷凍庫(約-20℃)に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。
  - ② 冷蔵庫(2~8℃)に、バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。

- (2) 移送30分前(時間厳守)：必ず実施のこと(バイアル再凍結を防止)  
 冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、常温環境(15℃~25℃)に置いておく。

(3) 移送直前：以下の手順でセッティングを行う。

- ① 保冷剤1枚を保冷バッグの床面に置く。
- ② 冷蔵庫からアルミ内箱(バイアルホルダー入)を取り出して、①の保冷剤の上に置く。
- ③ アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをデンプリザーからバイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。
- ④ 保冷剤2枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。
- ⑤ 上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤1枚を置く。
- ⑥ 発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バッグの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー  
(バイアルはだみー)



保冷剤  
(3℃融点保冷剤)



前日の準備



移送30分前



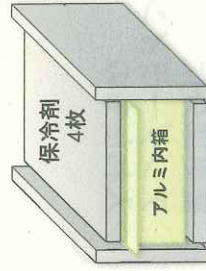
①



④



⑤



保冷剤  
4枚

アルミ内箱

# 保冷バッグの使用方法

- (1) 前日の準備(移送開始12時間以上前)：  
 ①冷凍庫(約-20℃)に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。  
 ②冷蔵庫(2~8℃)に、バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。

- (2) 移送30分前(時間厳守)：**必ず実施のこと(バイアル再凍結を防止)**  
 冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、**常温環境(15℃~25℃)に置いておく。**

(3) 移送直前：以下の手順でセッティングを行う。

- ①保冷剤1枚を保冷バッグの床面に置く。  
 ②冷蔵庫からアルミ内箱(バイアルホルダー入)を取り出して、  
 ①の保冷剤の上に置く。  
 ③アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをディープリザーからバイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。  
 ④保冷剤2枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。  
 ⑤上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤1枚を置く。  
 ⑥発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バッグの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー  
(バイアルはダミー)



保冷剤  
(3℃融点保冷剤)



移送30分前



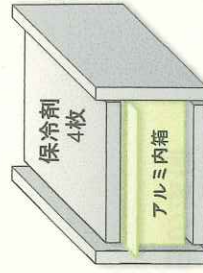
①



④



⑤



保冷剤  
4枚

アルミ内箱

## 参考

変更部分に  
アンダーラインを  
入れたものを